



若葉区地域福祉計画 推進協議会だより 第6号

平成19年10月24日発行

編集：若葉区地域福祉計画推進協議会事務局
若葉区貝塚町 1258-20 (若葉保健福祉センター内)
お問い合わせ先： 043-233-8572

平成19年度 第2回 若葉区地域福祉計画推進協議会開催

本年度第2回若葉区推進協が、平成19年9月29日(土)、若葉保健福祉センターにおいて開催されました。

今回は加曽利地区部会の活動内容についての事例を題材に、4つの班に分かれる形でグループ討議を行い、活発な意見が交わされました。

さらに行政より「地域福祉活動事例集(仮称)の作成にあたり、第1回の編集委員会の結果、若葉区からは「貝塚北部自治会 福祉を考える会」「シャローム若葉」の2団体に掲載候補として取材を行う旨、報告がありました。

若葉区推進協では、引き続き皆様からのご意見・ご感想や地域での取り組みの情報をお待ちしております。お寄せいただいた情報は、地域活動を実践する際の参考としていただけるよう、何らかの形でご紹介していきたいと考えております。

若葉区推進協は昨年同様、年4回の開催を予定しております。会議は傍聴もできます。また第3回推進協は12月上旬に開催予定です。詳細につきましてはお問い合わせください。



推進協 トピックス ～地域福祉推進事例の紹介～

地域福祉パイロット事業の推進 —関連する自治会との連携プレーの中で—
社協・加曽利地区部会 武 孝夫

1. 社協・加曽利地区部会の活動

8自治会会長、民生委員、老人会、ボランティアが活動主体であり、社協活動は、各自治会を通じ情報伝達が相互にスムーズに行われている。

2. 社協・加曽利地区部会の当面の考え

- ・周辺の宅地化等により若干の若い人の流入はあるが、全体的に核家族化と共に高齢化が進行している。ただし現時点ではまだまだ元気なお年寄りも多い。
 - ・団塊の世代のリタイア人口が増えてきており、そのポテンシャルをどう生かすかを真剣に考えている。
- 以上を踏まえ、現在次の2点に的を絞って活動している。

介護に頼らない“健康づくり”をスローガンにする。

地域にある老人関係施設との連携を密にするためのきっかけ作りをする。

3. 加曽利地区部会の活動

【その1】 軽スポーツの普及と奨励

- ・歩こう会の実施：年3回、5～8kmの近隣の公園探訪/毎回70名程度参加、おにぎり弁当を楽しむ
- ・ゲートボール大会の実施：地域限定だが火を消さないよう年1回の大会と食事会を行う。体力よりも、頭を使うことに注目。

●グラウンドゴルフ(GG)競技会の開催

社協主催で、年1回の大会を行っている。参加者は毎回100名を超える。終了後に芋煮会・太鼓演奏による踊りも行う。



新しい動き

2年前、社協エリアの近隣3自治会の有志によりGG競技会がスタート。現在4自治会による年4回の大会開催。各自治会とも競って練習し、地域全体の運動量が増えている。また、役員20名の交流が極めて盛んになり、この役員サークルがGG競技会以外の活動の推進力にもなりつつある。

(例：若葉区民祭りGG大会のお世話、パイロット事業、住民運動等)

【その2】地域にある老人福祉施設との連携体制づくり

●平成18年度パイロット事業・・・「福祉ボランティア活動と福祉相談のネットワークづくり」

- (目的) ボランティア活動として、各自治会の中から発掘するイベントによる活動を行う。老人福祉施設では、「福祉に関する何でも相談室」を開設してもらい、相互のフランクな交流を目指す。老人福祉施設は当面2箇所(秀眉園、寿クラブ)に焦点を合わせる。
- (事業内容) ボランティア活動は月1度、午後2時間程度、平成19年度も継続。イベント内容は、花と緑(利用者参加型の園芸活動)/手話ダンス/童謡と手品/等々

●平成19年度パイロット事業・・・「高齢者の健康づくりと地域福祉ネットワークの構築」

- (目的) 近隣老人福祉施設の医師・介護士を講師とする「質疑応答を主体の健康講話集会」を年3回開催。終了後の昼食と小イベントを行う中で施設関係者と交流し、福祉ボランティアの育成を図る。
- (事業内容) 健康講話のテーマは、高齢者にとって身近な問題(認知症のイロハ/高齢者のかかりやすい病気と予防/生活習慣病等々)を取り上げる。質疑応答の時間を十分とる。また施設関係者から「介護に関する何でも相談」の話もしてもらう。小イベントはヘルスメイトの方々の力を借りて、「低栄養予防料理」「電子レンジを使う簡単・手抜き料理」などの調理実習や折り紙の講習等も行う。

〇〇〇。第1回 健康講話集会開催(7/15 10～14時 若葉はづき会館にて)。〇〇〇。〇〇



“認知症あれこれ”千城台クリニック・寿ホーム 理事長 光永 伸一郎先生
台風の迫る中、72名が出席し活発な質疑応答があった。講演後、“手作りのおにぎりとお汁”で軽食を取り、その後、桜井よし子さんの指導による“折り紙教室”にて独楽の試作を行い、男性群の一部は、今後の健康講話テーマに関する意見を出し合った。

●パイロット事業の今後の進め方

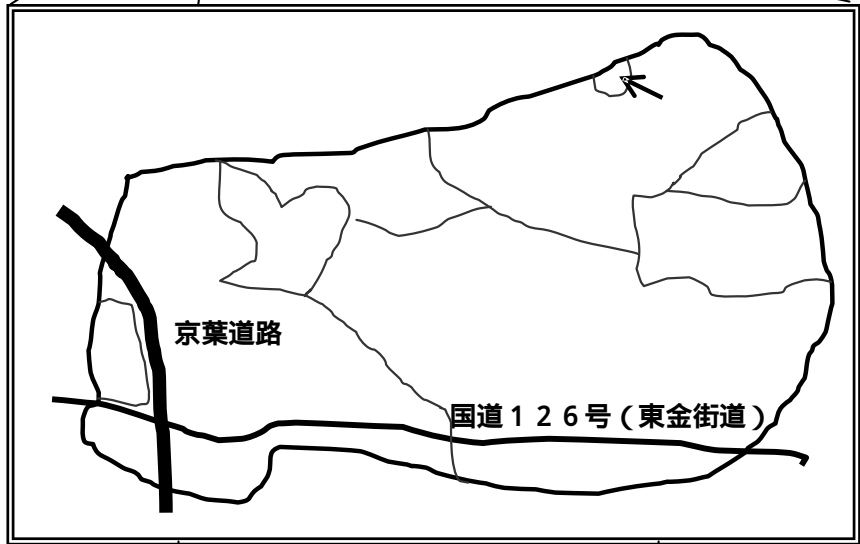
- 基本的には当面このまま継続して取り組んでいく。そのために地区部会の中に、「パイロット事業推進チーム(高齢者福祉委員会)」を設け、更に「福祉活動推進委員」とともにその推進を図りたい。
- 施設でのボランティア活動：未だ限られている地区からのボランティア活動を更に広域的に広めたい。また、長続きさせるための工夫や施設の要望もよく聞いていきたい。
 - 健康講話集会：皆さんの本テーマへの関心が強いので、単年度で終了するのではなく、身近なテーマ選択を心がけていきたい。集会の効果的なあり方は、皆でよく議論していきたい。

以上、長続きさせるために「**皆がやっている楽しい**」ということを常に心がけ、活動を進めていきたい。

地域福祉パイロット事業の推進 - 平成18年度・平成19年度の紹介 -

加曽利地区部会の現状

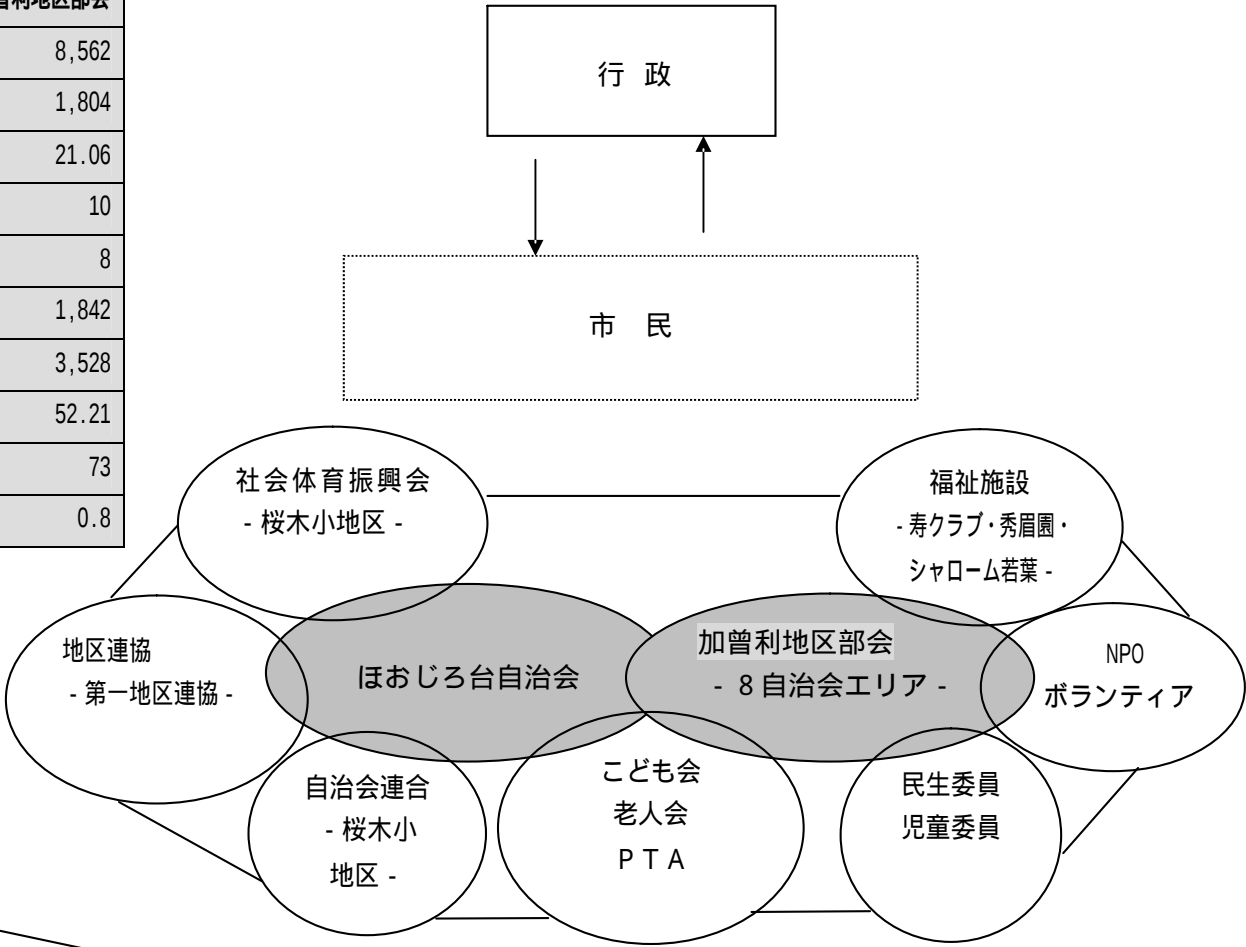
番号	項目	千葉市	若葉区	加曽利地区部会
1	人口(人)	929,277	149,609	8,562
2	高齢者数(人)	162,477	31,171	1,804
3	高齢者率(%)	17.48	20.83	21.06
4	民生委員・児童委員(人)	1,399	241	10
5	自治会数	1,017	109	8
6	自治会加入世帯(世帯)	287,525	42,849	1,842
7	世帯数(世帯)	389,722	62,726	3,528
8	自治会組織率(%)	73.77	68.31	52.21
9	農業従事者(人)	11,153	4,370	73
10	農業従事者率(%)	1.2	2.92	0.8



加曽利第1町内会
加曽利新和自治会
加曽利桜ヶ丘自治会
若葉はづき自治会

加曽利団地自治会
加曽利辰巳自治会
ほおじろ台自治会
加曽利第2町内会

ほおじろ台自治会と加曽利地区部会の関係



機能

- ・行政からの情報の伝達と発信
- ・住民共通利害の整理・解決
- ・生活環境の維持・保全 等

財源

- ・会費と行政その他からの補助金

行事・活動

- ・夏祭り / 餅つき ・同好会活動
- ・敬老会 ・地域の安全保持
- ・運動会・歩こう会
- ・共生 / 福祉活動 等

機能

- ・地域ぐるみの組織づくり
- ・地域福祉活動への参加を啓発
- ・地域の実情に合った福祉の推進

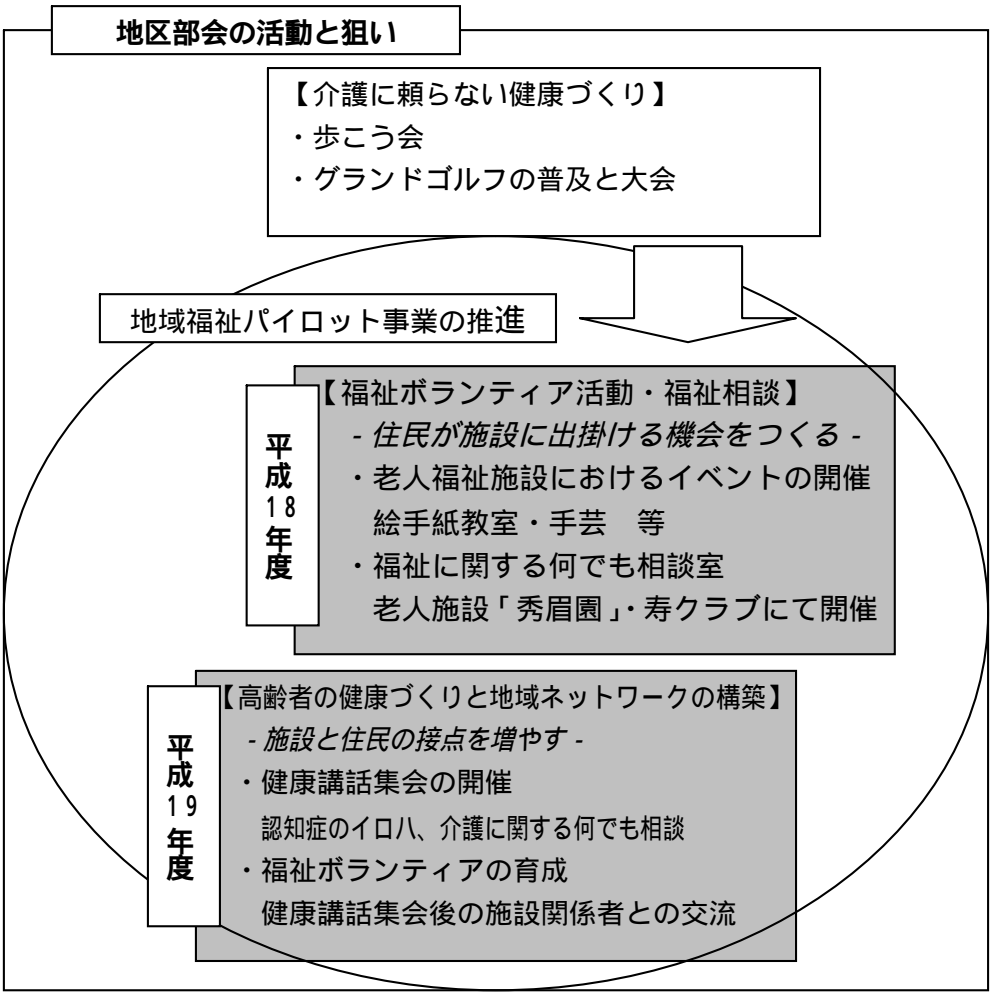
財源

- ・会費と行政その他からの補助金

行事・活動

- ・ふれあい給食
- ・ボランティア懇親会
- ・軽スポーツの普及と奨励(歩こう会 / グランドゴルフ等)

加曽利地区部会の活動と今後



今後の活動の課題

- ・団塊世代のリタイア人口の増加とともにその持てる潜在能力を発掘し、それを早急に生かす工夫・方法を考える。
- ・高齢化、核家族化の進行に対し、福祉ネットワーク構築のための基礎づくりを行う。
- ・地区部会と自治会の連携を深化させていく。

今後の地区部会の方向性

- ・当面は介護に「頼らない健康づくり」をスローガンにする。
- ・平行して地域にある老人関係施設との連携を密にし、相互にフランクに通い合えるきっかけづくりを行っていく。

